

なかのSDGsロゴマークの決定について

このたび、SDGsの普及・啓発活動の一環として、中野区独自のSDGsロゴマークを作成したので、以下のとおり報告する。

1 ロゴマーク作成の目的

中野区におけるSDGsの推進に向けて、区民や区内事業者に浸透するような中野区独自のロゴマークを作成し、中野区公式ホームページや区発行の各種広報物に活用することで、SDGsの普及・啓発をより一層推進していくことを目的とする。

2 作成者

学校法人東京工芸大学

※「中野区と東京工芸大学との相互協力に関する基本協定」に基づき、学校法人東京工芸大学（以下「東京工芸大学」という。）に在籍する学生に、専門知識や技術、創造力を地域社会に還元する機会を提供するための取組として作成を依頼した。

3 選考

東京工芸大学より4つのロゴマーク案の提示を受け、選考により最も評価の高かった作品をロゴマークとして決定した。

4 選考結果

(1) ロゴマーク



(2) デザインコンセプト

区の花であるつつじをモチーフに、花卉の形は中野区をアルファベット表記した際の頭文字である「N」を表現している。「N」の花卉が集まって一輪の花になっている様子は、中野区の街や住民が協力し一つになっていることを表し、中野区全体が一体となってSDGsの取組を推進していくことを象徴している。

5 公表及び今後の活用方法

今回作成したロゴマークは、中野区公式ホームページにて公表を行う。また、SDGsの普及・啓発の推進のため、区発行の各種広報物や、なかのSDGsパートナー登録証等に活用する。